

特別講演では米国の事例を紹介！

～非常時の通信確保等に貢献された方々には表彰が行われました～

平成27年6月10日（水）、金沢東急ホテル5Fボールルームにおいて、第64回北陸地方非常通信協議会総会が行われました。総会では、北陸地方非常通信協議会会長である北陸総合通信局局長からのあいさつ後、協議会の各種事業等についての討議が行われました。

また総会では、前年度に非常通信を行って人命救助に寄与されたり、デジタル防災行政無線を先進的に整備し、情報の伝達手段として有効に活用されている以下の1個人、4団体に対し表彰が行われました。

個人 池上 富治男

団体 小松市 能美市 福井市 大野市

※ 功績等の詳細は以下の報道資料（お知らせ）をご覧ください。
災害時の情報伝達の確保等に貢献した1個人・4団体を表彰
—北陸地方非常通信協議会総会における表彰—

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2015/pre150609.html>



星局長あいさつ



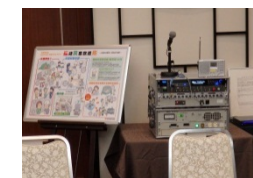
表彰の様子



石井事業開発
部長による講演

続いて、『「米国における危機管理体制と防災・減災対策」について』と題し、講師にシスコシステムズ合同会社 パブリックセクター事業 営業推進グループ 事業開発部長 石井 延幸氏をお迎えして、特別講演を開催しました。講演では、米国の連邦緊急事態管理庁（FEMA）を中心とする危機管理体制を紹介しながら、海外の防災や減災対策についてご説明をいただきました。この中では、日本として米国に学ぶべきは、緊急事態発生時における対応組織についての考え方であり、日本人個人としてみれば災害等への対応には高い潜在能力を持っていると述べられていました。

会場では、実験試験局の免許を受けた臨時災害放送局設備による電波の発射を行い、その電波を手回し式FM受信機で聴いていただくデモも行われ、特別講演の内容とあわせ、参加者は防災、減災への意識を高めているようでした。



臨時災害放送局設備

お問い合わせ先：北陸総合通信局無線通信部陸上課 076-233-4480